

第1回米の安定供給等実現関係閣僚会議 議事要旨

1. 日 時：令和7年6月5日（木）17時35分～17時55分

2. 場 所：官邸4階大会議室

3. 出席者：

石破内閣総理大臣、林内閣官房長官、小泉農林水産大臣、村上総務大臣、加藤財務大臣、武藤経済産業大臣、中野国土交通大臣、橋内閣官房副長官、青木内閣官房副長官、佐藤内閣官房副長官、阪田内閣官房副長官補、小林内閣広報官、長井農林水産省大臣官房長

4. 議事概要

○ 冒頭、林内閣官房長官から、議事について説明があった。次に、小泉農林水産大臣から、資料について次のような説明があった。

- ・ 米の価格については、昨年の2倍にまで高騰し、高止まりしている状況。
- ・ これまで、31万トンの政府備蓄米の売渡しを行ってきたが、最初の入札から2か月で、小売、中食・外食事業者まで流通したものは、約2割であり、スーパーの店頭価格は高止まりしている。
- ・ 国民の皆様が、早く、安心した価格で米を買うことができる環境を作っていくべく、「随意契約」による売渡しを開始した。30万トンのうち、5月26日から開始した大手小売店分は、2日間で申込が20万トンを超えるスピードで、順次引渡しを行い販売が開始されている。写真にあるように、随意契約を開始する際に想定していた税抜2,000円/5kg程度で販売されている。
- ・ 今般、全国の農林水産省の職員による、各地域のブレンド米の価格調査を実施した。全国最低価格は2,980円/5kg、最高価格は4,480円/5kgとなっており、約1,500円/5kgの差がある。随意契約により売り渡した政府備蓄米は、先ほど申し上げた通り税抜2,000円/5kg程度で販売され、大手小売の皆様方に多大なる御協力をいただいた結果、申請受付開始からわずか5日後の5月31日、2社で第一弾の店頭販売が開始され、その後も着実に、大手スーパー等での販売が拡大している。
- ・ また、中小のスーパー、街のお米屋への随意契約も始まった。こちらも小売業者皆様方の御協力もあり、申込み開始から5日後の6月4日にコンビニ事業者への引き渡しが始まり、そして本日、店頭販売が開始された。
- ・ 今後順次、街のお米屋などにおいても、店頭販売が広がっていくことになっており、早く、かつ広く、あまねく、消費者のお手元に届くことになると考えている。
- ・ 日本の水田にはまだまだ米をつくる力がある。昨年も米全体で816万トン生産した。7年産の主食用米は、備蓄米と合わせ、昨年から7.5万ha増の133.4万haの作付面積であり、生産量で言えば、40万トン増の719万トンが主食用として供給される見込み。これは、過去5年で最大の生産面積である。
- ・ 今後も、産地には、前向きに米を作り続けていただきたいというメッセージを、そして、

消費者の皆様には、皆様が欲しい分のお米はしっかり秋には収穫されるから安心してほしいというメッセージを発信していきたいと考えている。国民の皆様に対する米の安定供給の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでまいりたい。

○ これを踏まえて、中野国土交通大臣から、次のような発言があった。

- ・ 備蓄米の売り渡しにおいて、物流事業者による迅速な出庫や輸送は重要な役割を担っていると認識している。
- ・ このため、全日本トラック協会等の物流の業界団体に対し、迅速な出庫や輸送について、協力を要請した。
- ・ また、5月30日に設置した「備蓄米物流支援室」では、農林水産省から、物流の面で目詰まりが発生しているとの情報が寄せられた場合に、業界団体とも協力して、物流事業者の手配支援等を行うこととしている。
- ・ 国土交通省としても、引き続き、農林水産省とよく連携して取り組んでまいりたい。

○ 最後に、石破内閣総理大臣から、次のような発言があった。

- ・ 我が国の米生産については、今後、農業者の急速な減少が見込まれるとともに、昨年夏の品薄をきっかけに米価が高騰するなど、主食である米の供給に対する国民の皆様方の不安が高まっている状況にある。
- ・ 消費者の方々に持続的に安心いただける価格で米を提供するとともに、生産性向上を通じた持続的な農業生産により、米の安定的な供給を実現することが必要である。
- ・ そうした議論をこの関係閣僚会議で行っていききたいと考えている。
- ・ 小泉農林水産大臣におかれては、これまで迅速かつきめ細やかな対応により、政府備蓄米を想定よりも早く店頭に並べていただいたところであるが、米の価格が落ち着くよう、引き続き、スピード感をもって対応すること、並行して、まずは今般の米の価格高騰の要因や対応の検証を行うこと、その上で、その検証を踏まえた短期と中長期の対応策を検討することを進めていただきたい。
- ・ 中野国土交通大臣におかれては、備蓄米がスピード感を持って滞りなく配送されるよう、引き続き、物流業者への働きかけをお願いする。
- ・ 食料・農業・農村基本計画において米を増産することとしているが、将来にわたって生産者の方々が意欲を持って持続的・安定的に米を生産し、かつそれを消費者の方々に手に取りやすい価格で供給できる生産者・消費者、双方にとってメリットのある米の安定供給が実現されるよう、内閣官房長官及び農林水産大臣を中心に、関係閣僚が一体となって取り組んでいただくようお願いしたい。

以上